

平成 29 年度

活動期間（平成 29 年 7 月～平成 30 年 6 月）

# 環境活動レポート

発行日 平成 30 年 10 月 1 日

有限会社ショウエイ環境

*Shoeci*

# 目次

1. 組織の概要
  - ① 1.事業所及び代表者氏名
    - 2.所在地
    - 3.設立年月日
    - 4.資本金
    - 5.売上高
    - 6.事業内容
    - 7.環境管理責任者及び連絡先
  - ② 8.組織図
    - 9.許可内容
    - 10.認証登録範囲
2. 環境方針
3. 環境目標
4. 主要な環境活動計画
5. 環境目標の実績
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、  
次年度の取組内容
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、  
訴訟等の有無
8. 代表者による全体評価と見直しの結果

# 1 組織の概要①

1.事業所名  
代表者氏名

有限会社ショウエイ環境  
代表取締役 橋本 健一郎

2.事業所の所在地

●本社  
〒833-0053  
福岡県筑後市大字西牟田6352番地1

●中間処理場  
〒830-0111  
福岡県久留米市三潴町大字西牟田6345番地3

●前津工場  
〒833-0002  
福岡県筑後市大字前津字南長峯2115番

●溝口工場  
〒833-0012  
福岡県筑後市大字溝口字兵足561番1

●作業場  
〒834-0123  
福岡県八女郡広川町大字藤田1077

3.法人設立年月日

平成10年12月17日  
(創業年月日 平成6年5月1日)

4.資本金

300万円

5.売上高

	単位	平成27年	平成28年	平成29年
売上高	万円	62,200	71,100	74,600
従業員数	人	29	45	54

※事業年度は7月1日起算、翌年6月30日決算

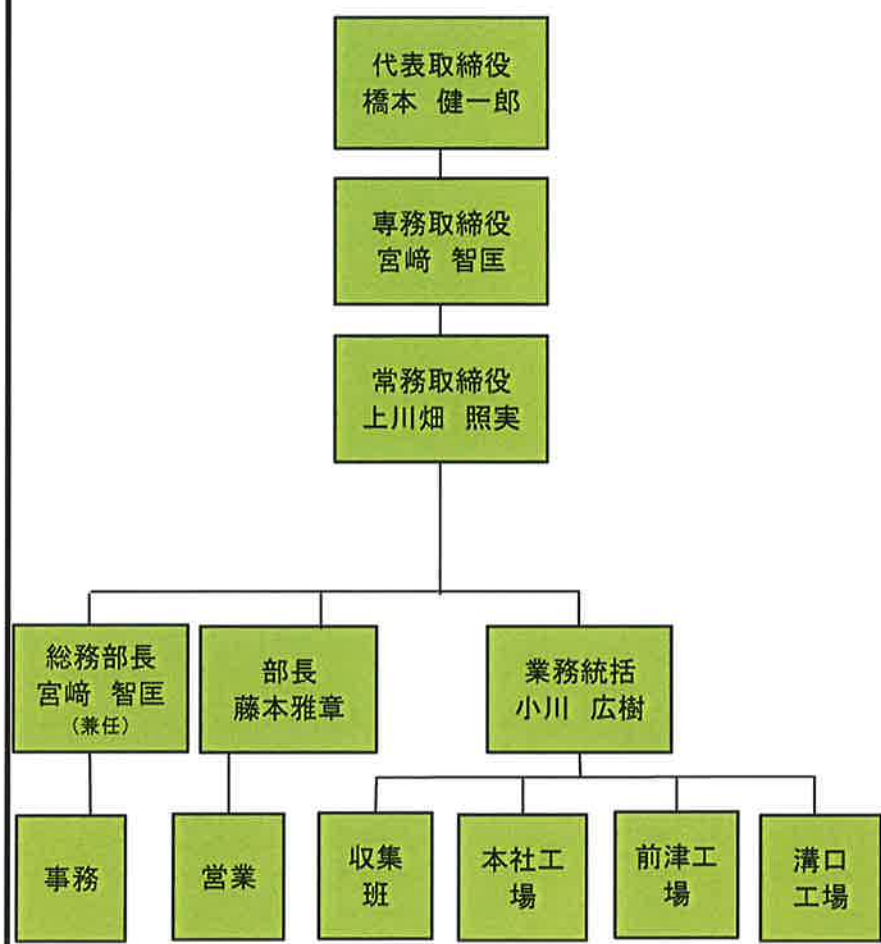
6.事業内容  
(対象組織)

- ◆ 産業廃棄物中間処理業
- ◆ 産業廃棄物収集運搬業
- ◆ 一般廃棄物収集運搬業

7.環境管理責任者  
EA21事務局 担当者  
連絡先

宮崎 智匡  
中島 亮介  
TEL 0942-54-0738  
FAX 0942-54-0741  
Email [syouei540738@magma.jp](mailto:syouei540738@magma.jp)

8.組織図



# 1 組織の概要②

## 9.産業廃棄物許可内容

産業廃棄物処分量	久留米市《許可番号 11220059050》
中間処理(選別)	廃プラスチック類、金属くず、紙くず、ガラスくず等、木くず、繊維くず、がれき類
中間処理(破碎)	ガラスくず等(廃石膏ボードに限る)
許可年月日	平成22年7月6日
許可の有効年月日	平成29年7月5日
選別施設	
設置場所	福岡県久留米市三潨町西牟田字鳥越6345番3外2筆
設置年月日	平成17年12月1日
処理能力	36t/日(8時間)
破碎施設	
設置場所	福岡県久留米市三潨町西牟田字鳥越6344番22
設置年月日	平成22年1月15日
処理能力	4.5t/日(8時間)
積替保管施設	
設置場所	福岡県久留米市三潨町西牟田字鳥越6344番22
積替保管面積	41.67㎡

## 処理料金

廃棄物の種類	持ち込み価格	収集価格
廃プラスチック	m <sup>3</sup> =5,500円	m <sup>3</sup> =6,500円
金属くず	Kg=時価買取	Kg=時価買取
紙くず	m <sup>3</sup> =5,500円	m <sup>3</sup> =6,500円
石膏ボード	m <sup>3</sup> =13,000円	m <sup>3</sup> =15,000円
がれき・ガラス陶磁器	m <sup>3</sup> =8,000円	m <sup>3</sup> =11,000円
繊維くず	m <sup>3</sup> =5,500円	m <sup>3</sup> =6,500円
リサイクル品 (コンクリート・アスファルト・瓦)	m <sup>3</sup> =4,000円	m <sup>3</sup> =8,000円
木くず	Kg=15~30円	m <sup>3</sup> =5,500円 ~10,000円
アスベスト	なし	m <sup>3</sup> =17,000円

## 10.認証登録範囲

全組織 全活動

# 1 組織の概要③

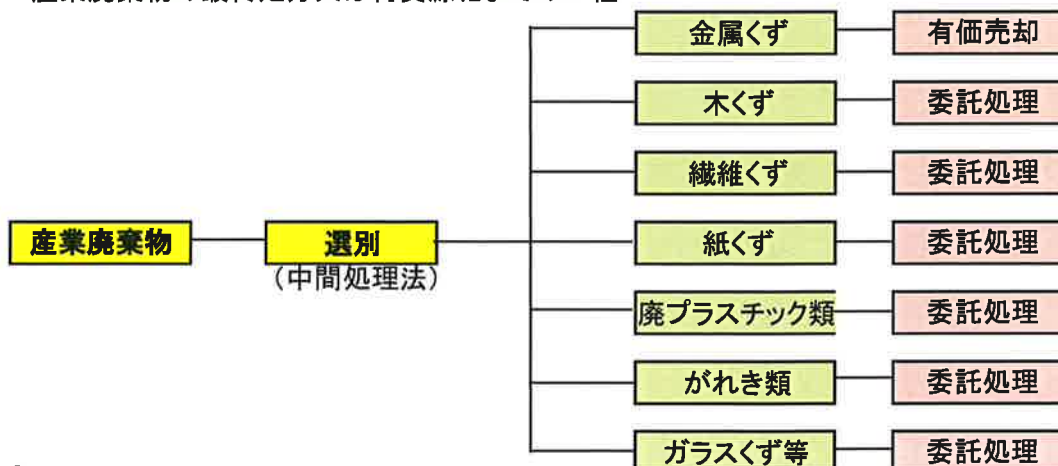
## ◆収集運搬許可一覧

産業廃棄物収集運搬業					許可項目						
都道府県及び政令指定都市	積替保管	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず等	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類
福岡県		4000059050	平成26年2月26日	平成31年2月25日	●	●	●	●	●	●	●
佐賀県		4103059050	平成26年3月26日	平成31年3月25日	●	●	●	●	●	●	●
熊本県		4305059050	平成25年12月4日	平成30年12月3日	●	●	●	●	●	●	●
大分県		4407059050	平成26年5月10日	令和1年5月9日	●	●	●	●	●	●	●
長崎県		4200059050	平成27年5月13日	令和2年5月12日	●	●	●	●	●	●	●
宮崎県		4504059050	平成27年12月18日	令和2年12月17日	●	●	●	●	●	●	●
鹿児島県		4607059050	平成28年1月5日	令和3年1月4日	●	●	●	●	●	●	●
久留米市		11210059050	平成26年2月26日	平成31年2月25日	●	●	●	●	●	●	●
一般廃棄物収集運搬業					許可項目						
都道府県及び政令指定都市	積替保管	許可番号	許可年月日	許可有効年月日	廃プラスチック	金属くず	ガラスくず等	紙くず	木くず	繊維くず	がれき類
久留米市		1031	平成28年4月1日	平成30年3月31日	●	●	●	●		●	
筑後市			平成29年4月1日	平成31年3月31日	●			●		●	

## ◆収集運搬車両

名称	台数
20t ダンプ	1台
10t ダンプ	2台
10t コンテナ	1台
7t クラム	1台
7.4t クラム	1台
4t クラム	3台
4t パッカー	1台
2t パッカー	1台
4t コンテナ	4台
2t コンテナ	1台
4t ユニック	1台
3t ユニック	2台
2t ダンプ	1台
2t 平車	1台
乗用車	3台

産業廃棄物の最終処分又は再資源化までの工程



# 1. 組織の概要④

## ◆受託した産業廃棄物の処理量

(平成28年7月～平成29年6月)

処理方法等		処分方法等		処理量t	
収集運搬	廃プラスチック			6,841	
	金属くず			9,950	
	ガラスくず等			537	
	紙くず			848	
	木くず			4,971	
	石膏ボード			556	
	アスベスト			522	
	繊維くず			41	
	コンクリート			562	
	がれき類			4,434	
収集運搬量合計(A)				29,262	
中間処理(B)	廃プラスチック	選別		6,841	
	金属くず	選別		9,950	
	ガラスくず等	選別		537	
	紙くず	選別		848	
	木くず	選別		4,971	
	繊維くず	選別		41	
	石膏ボード	選別		556	
	コンクリート	選別		562	
	がれき類	選別		4,434	
	うち再資源化等	廃プラスチック	選別		1,368
金属くず		選別		9,950	
ガラスくず等		選別		54	
紙くず		選別		848	
木くず		選別		4,971	
繊維くず		選別		41	
石膏ボード		選別		556	
コンクリート		選別		562	
再資源化等量小計				18,350	
中間処理合計(B)				28,740	
最終処分				0	
				0	
				0	
最終処分量合計(C)				0	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	廃プラスチック	安定型埋立 委託処理	5,473	
		がれき類	安定型埋立 委託処理	4,434	
		ガラスくず等	安定型埋立 委託処理	483	
	再資源化	木くず	委託処理	4,971	
		紙くず	委託処理	848	
		廃プラスチック	委託処理	1,368	
		コンクリート	委託処理	562	
		繊維くず	委託処理	41	
		金属くず	委託処理	9,950	
		石膏ボード	委託処理	556	
ガラスくず等	委託処理	53.7			
再資源化等量小計				18,350	
中間処理後処分量合計(D) = (B)				28,740	

## 2. 環境方針

### 基本理念

処分場の運営は、「地域住民の環境の保全をはかること」を目的とする。  
有限会社ショウエイ環境は廃棄物処理事業を行うに当たり、社会的責任を認識し、  
良好な地域環境及び地球環境の保全に貢献できるよう以下の方針を規定する。

### 環境方針

- 1・事業活動に伴う環境への負荷を削減するために、以下の環境への取り組みを行う。
  - (1) 車両、重機、機械類のエコ運転に努めて、燃料、二酸化炭素排出量を削減する。
  - (2) 各事業所の電気の省エネルギーを推進して、二酸化炭素排出量を削減する。
  - (3) 節水により、水の使用量を削減する。
  - (4) 分別の徹底、裏紙の使用により廃棄物排出量を削減する。
  - (5) グリーン商品を購入する。
  - (6) 地域貢献活動を推進する。
  - (7) 廃棄物分別及び環境保全の情報を提供する。
  
- 2・環境関連法規等及びその他の合意事項を遵守する。
  
- 3・全社員に対し、必要な教育、訓練を行い地域環境及び、地域環境保全に貢献できるよう、目標を定め、環境管理活動の継続的な改善を図る。
  
- 4・企業活動の一環として、福岡県産業廃棄物協会久留米支部の美化活動に参加し、奉仕活動を通じて地域の皆様や環境との調和を目指す。

平成28年11月19日

有限会社ショウエイ環境

代表取締役 橋本 健一郎



## 2. 環境目標

環境目標		単位	該当事業所	平成28 年実績	平成29年度 目標	平成30年度 目標	平成31年度 目標
1	① 二酸化炭素排出量の削減	kg-CO <sub>2</sub> (kg-CO <sub>2</sub> /t)	全社	864,960 (6.74)	856,310 (6.67) (1%減)	847,661 (6.61) (2%減)	839,011 (6.54) (3%減)
			事務所	31,236	30,924 (1%減)	30,611 (2%減)	30,299 (3%減)
			中間処理場	63,175	62,543 (1%減)	61,912 (2%減)	61,280 (3%減)
			作業場	605,944	599,885 (1%減)	593,825 (2%減)	587,766 (3%減)
			前津工場	121,140	119,929 (1%減)	118,717 (2%減)	117,506 (3%減)
			溝口工場	43,465	43,030 (1%減)	42,596 (2%減)	42,161 (3%減)
1	② 電気使用量の削減	kWh	全社	189,813	187,915 (1%減)	186,017 (2%減)	184,119 (3%減)
			事務所	8,532	8,447 (1%減)	8,361 (2%減)	8,276 (3%減)
			中間処理場	5,974	5,914 (1%減)	5,855 (2%減)	5,795 (3%減)
			作業場	13,932	13,793 (1%減)	13,653 (2%減)	13,514 (3%減)
			前津工場	114,935	113,786 (1%減)	112,636 (2%減)	111,487 (3%減)
			溝口工場	46,440	45,976 (1%減)	45,511 (2%減)	45,047 (3%減)
1	③ 灯油使用量の削減	L	全社	247	245 (1%減)	242 (2%減)	240 (3%減)
			事務所	247	245 (1%減)	242 (2%減)	240 (3%減)
			中間処理場	0	0 (1%減)	0 (2%減)	0 (3%減)
1	④ 重油使用量の削減	L	中間処理場	22,151	21,929 (1%減)	21,708 (2%減)	21,486 (3%減)
1	④ ガソリン使用量の削減	L	事務所	10,940	10,831 (1%減)	10,721 (2%減)	10,612 (3%減)
			前津工場	612	606 (1%減)	600 (2%減)	594 (3%減)
1	⑤ 軽油使用量の削減	L (L/t)	作業場	228,091 (3.88)	225,810 — (1%減)	223,529 (3.80) (2%減)	221,248 (3.76) (3%減)
			中間処理場	66,300 (3.88)	65,637 — (1%減)	64,974 (3.80) (2%減)	64,311 (3.76) (3%減)
			前津工場	20,760 (3.88)	20,552 — (1%減)	20,345 (3.80) (2%減)	20,137 (3.76) (3%減)
			溝口工場	7,219 (3.88)	7,147 — (1%減)	7,075 (3.80) (2%減)	7,002 (3.76) (3%減)
2	⑥ 廃棄物排出量の削減	t	全社	0.563	0.557 (1%減)	0.552 (2%減)	0.546 (3%減)
			事務所	0.219	0.217 (1%減)	0.215 (2%減)	0.212 (3%減)
			中間処理場	0.047	0.047 (1%減)	0.046 (2%減)	0.046 (3%減)
			作業場	0.017	0.017 (1%減)	0.017 (2%減)	0.016 (3%減)
			前津工場	0.090	0.089 (1%減)	0.088 (2%減)	0.087 (3%減)
			溝口工場	0.190	0.188 (1%減)	0.186 (2%減)	0.184 (3%減)
3	⑦ 水使用量の削減	m <sup>3</sup>	全社	4,813	4,765 (1%減)	4,717 (2%減)	4,669 (3%減)
			事務所 中間処理場	1,477	1,462 (1%減)	1,447 (2%減)	1,433 (3%減)
			作業場	11.9	11.8 (1%減)	11.7 (2%減)	11.5 (3%減)
			前津工場	2,076	2,055.2 (1%減)	2,034.5 (2%減)	2,013.7 (3%減)
			溝口工場	1,248	1,235.5 (1%減)	1,223.0 (2%減)	1,210.6 (3%減)
4	⑧ グリーン商品購入の推進	品目	事務所	12	12	12	12
5	⑨ 地域貢献活動の推進	回	各事業所	12	12	12	12
6	⑩ 廃棄物分別及び環境保全の情報提供	-	事務所	実施	実施	実施	実施

備考：( )内%、回は、平成28年度の実績をベースとしての削減率又は増加数を示す。  
 ・電力の二酸化炭素排出係数は、九州電力の平成27年度実排出係数0.528kg-CO<sub>2</sub>/kwhを使用した。  
 ・「二酸化炭素排出量の/全社」の下記欄は(平成28年度実績÷(収集量+処理量))で、二酸化炭素の収集運搬原単位(kg-CO<sub>2</sub>/t)を算出した。  
 ・「軽油使用量の削減」の下記欄は(平成28年度実績÷収集量)で軽油使用量の収集運搬原単位(L/t)を算出した。  
 注) 前津工場、溝口工場はH28.10稼働開始の為、参考値とし、今後随時見直しをします。

### 3. 環境活動計画

#### ▼事務所

取り組み目標	責任者	活動項目	担当者	スケジュール(H.29.7月～H.30.6月)		
				7～10月	11～2月	3～6月
1 電気使用量の削減	藤本	① エアコン設定温度を決め、実行する	足立	←		→
		② 照明機器スイッチ管理 (使用してない場所の電源を切る)	足立	←		→
		③ パソコン不要時には電源OFF	足立	←→	←→	
		④ 定期的な空調機フィルターの清掃	藤本	←		→
3 ガソリン使用量の削減	藤本	① エコドライブの実施	藤本	←		→
		② 定期点検の実施	藤本	←		→
4 廃棄物排出量の削減	藤本	① 裏紙の使用	近藤	←		→
	藤本	② 分別の徹底	近藤	←		→
5 水使用量の削減	藤本	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	加藤	←		→
		② 節水ラベルの貼付	加藤	←		→
6 グリーン商品の購入	藤本	① 購入の際 グリーンマークを確認する	加藤	←		→
7 地域貢献活動の推進	藤本	① 会社の周辺の道路清掃及びゴミ拾い	中島	←		→
8 廃棄物分別及び環境 保全の情報を提供する	藤本	① 取引先に廃棄分別の指導	宮崎	←		→
		② 各廃棄物のリサイクルの説明	宮崎	←		→

#### ▼中間処理場

取り組み目標	責任者	活動目標	担当者	スケジュール(H.29.7月～H.30.6月)		
				7～10月	11～2月	3～6月
1 二酸化炭素排出量の 削減 (電気・重油)	山口	① 不要電力消費抑制 (不要な場合は機械を止める運動)	山口	←		→
		② エコドライブの実施	山口	←		→
		③ 重機のメンテナンスの実施 (グリスアップ・オイル定期交換)	中村	←		→
2 廃棄物排出量の削減	山口	① 分別の徹底	中村	←		→
3 水使用量の削減	山口	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	田中	←		→
	山口	② 節水ラベルの貼付	田中	←		→
	山口	③ 雨水を場内の散水に使用	田中	←		→
4 地域貢献活動の推進	山口	① 会社の周辺の道路清掃及びゴミ拾い	田中	←		→

#### ▼作業場

取り組み目標	責任者	活動目標	担当者	スケジュール(H.29.7月～H.30.6月)		
				7～10月	11～2月	3～6月
1 二酸化炭素排出量の 削減 (電気・軽油)	石崎	① 不要電力消費抑制 (不要な場合は機械を止める運動)	山口	←		→
		② エコドライブの実施	中島	←		→
		③ 収集車両のメンテナンスの実施 (タイヤの空気圧チェック)	栗原	←		→
		④ 収集運搬の効率的な配車経路の実施	中島	←		→
2 廃棄物排出量の削減	山口	① 分別の徹底	大隈	←		→
3 水使用量の削減	山口	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	延	←		→
		② 節水ラベルの貼付 雨水を洗車に使用	中島	←		→
4 地域貢献活動の推進	石崎	① 会社の周辺の道路清掃及びゴミ拾い	武下	←		→

▼中間処理場(前津)

取り組み目標	責任者	活動目標	担当者	スケジュール(H.29.7月~H.30.6月)		
				7~10月	11~2月	3~6月
1 二酸化炭素排出量の削減 (電気・重油)	江口	① 不要電力消費抑制 (不要な場合は機械を止める運動)	江口	←	→	
		② エコドライブの実施	江口	←	→	
		③ 重機のメンテナンスの実施 (グリスアップ・オイル定期交換)	江口	←	→	
2 廃棄物排出量の削減	江口	① 分別の徹底	堤	←	→	
3 水使用量の削減	江口	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	堤	←	→	
	江口	② 節水ラベルの貼付	堤	←	→	
	江口	③ 雨水を場内の散水に使用	堤	←	→	
4 地域貢献活動の推進	江口	① 会社の周辺の道路清掃及びゴミ拾い	堤	←	→	

▼中間処理場(溝口)

取り組み目標	責任者	活動目標	担当者	スケジュール(H.29.7月~H.30.6月)		
				7~10月	11~2月	3~6月
1 二酸化炭素排出量の削減 (電気・軽油)	松崎	① 不要電力消費抑制 (不要な場合は機械を止める運動)	松崎	←	→	
		② エコドライブの実施	松崎	←	→	
		③ 収集車両のメンテナンスの実施 (タイヤの空気圧チェック)	松崎	←	→	
		④ 収集運搬の効率的な配車経路の実施	松崎	←	→	
2 廃棄物排出量の削減	松崎	① 分別の徹底	松崎	←	→	
3 水使用量の削減	松崎	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	松崎	←	→	
		② 節水ラベルの貼付 雨水を洗車に使用	松崎	←	→	
4 地域貢献活動の推進	松崎	① 会社の周辺の道路清掃及びゴミ拾い	松崎	←	→	

## 5. 環境目標の実績

エコアクション21を運用した平成29年7月～平成30年6月における目標に対する実績は次の通りであった。(運用年度:7月～翌年6月)

(※使用電力の二酸化炭素排出量は、九州電力の平成26年度実排出係数0.584kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用して算出した。)

(全社)

目標	単位	平成28年度実績	平成29年度目標	平成29年度実績	目標達成の判定
二酸化炭素排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	864,960	856,310	746,894	○
		(月平均) 72,080	(月平均) 71,359	(月平均) 62,241	113%
(電気使用量の削減)	kWh	189,813	187,915	214,822	×
		(月平均) 15,818	(月平均) 15,660	(月平均) 17,902	86%
(灯油使用量の削減)	L	247	245	0	○
		(月平均) 41	(月平均) 40.833	(月平均) 0	200%
(重油使用量の削減)	L	22,151	21,929	10,414	○
		(月平均) 1,846	(月平均) 1,827	(月平均) 868	153%
(ガソリン使用量の削減)	L	11,552	11,437	9,278	○
		(月平均) 963	(月平均) 953.08	(月平均) 773	119%
(軽油使用量の削減)	L	322,370	319,146	222,422	○
		(月平均) 26,864	(月平均) 26,596	(月平均) 18,535	130%
総廃棄物排出量の削減	t	0.563	0.557	0.216	○
		(月平均) 0.047	(月平均) 0.0464	(月平均) 0.018	161%
水使用量の削減	m <sup>3</sup>	4,813.0	4,765	7,618.0	×
		(月平均) 401	(月平均) 397.08	(月平均) 635	40%
グリーン商品の購入	品目	12	12	29	○
地域貢献活動の推進	回/年間	12	12	12	○
		(月平均) 1	(月平均) 1	(月平均) 1	
廃棄物分別及び環境保全の情報提供	-	実施	実施	実施	○

達成状況の判定:

○達成できている

×達成できていない

### 目標未達の原因について

- ・全体的な処理量増加に伴い処理施設の電気使用量・水使用量も増加

目標達成率計算式

$$\left[ \frac{\text{目標} - \text{実績}}{\text{目標}} + 1 \right] \times 100$$

## 6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

事務所

達成状況の判定：○達成している ×達成していない

取組対象		取組活動	実施状況	達成状況
1	電気使用量の削減	① エアコン設定温度を決め、実行する	○	○
		② 照明機器スイッチ管理(使用していない場所の電源を切る)	○	
		③ パソコン不要時には電源OFF	○	
2	灯油使用量の削減	① 燃料消費量の管理(火力の調整)	○	○
3	ガソリン使用量の削減	① エコドライブの実施	○	○
		② 定期点検の実施	○	
4	廃棄物排出量の削減	① 裏紙の使用	○	○
		② 分別の徹底	○	
5	水使用量の削減	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	/	/
		② 節水ラベルの貼付		
6	グリーン商品の購入	① 購入の際、グリーンマークを確認する	○	○
7	地域貢献活動の推進	① 会社の周辺の道路清掃及びゴミ拾い	○	○
8	廃棄物分別及び環境保全の情報を提供する	① 取引先に廃棄物分別の指導	○	実施
		② 各廃棄物のリサイクルの説明	○	
評価(今後の取組方向を含む)		取組はしっかり出来ている。次年度については、廃棄物処理法の改正等があるので、営業は顧客先にこまめに訪問し、指導を徹底する。		

中間処理場

取組目標		取組項目	実施状況	達成状況
1	二酸化炭素排出量の削減 (電気・灯油・重油)	① 不要電力消費抑制(不要な場合は機械を止める運動)	×	×
		② エコドライブの実施	○	
		③ 重機のメンテナンスの実施(グリスアップ・オイル定期交換)	○	
		④ 消費燃料の管理(火力の調整)	○	
2	廃棄物排出量の削減	① 分別の徹底	○	○
3	水使用量の削減	① 蛇口の水を流しっぱなしにしない	○	○
		② 節水ラベルの貼付	○	
		③ 雨水をトイレ掃除に使用	○	
4	地域貢献活動の推進	① 会社の周辺の道路掃除及びゴミ拾い	○	○
評価(今後の取組方向を含む)		機械(破砕機・選別ライン)の稼働時間が増加し電気使用量が増加しているので、不使用時の電源オフの徹底をする。		

作業場

取組目標		活動項目	実施状況	達成状況
1	二酸化炭素排出量の削減 (電気・軽油)	① 不要電力消費抑制(不要な場合は機械を止める運動)	○	×
		② エコドライブの実施	×	
		③ 収集車両メンテナンスの実施(タイヤの空気圧チェック)	×	
		④ 収集運搬の効率的な配車経路の実施	○	
2	廃棄物排出量の削減	① 分別の徹底	○	○
3	水使用量の削減	① 蛇口の水を出しっぱなしにしない	○	○
		② 節水ラベルの張付・雨水を洗車に使用	○	
4	地域貢献活動の推進	① 会社周辺の道路掃除及びゴミ拾い	○	○
評価(今後の取組方向を含む)		軽油使用量が増加しているので、ドライバーの教育を月1回(安全・品質会議)実施し、エコドライブの徹底や、メンテナンスの強化を行う。		

## 7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規	要求事項	遵守状況
廃棄物処理法 (収集運搬・中間処理業)	1・許可申請(収集・運搬)の遵守	適
	2・許可更新(収集・運搬)の遵守	適
	3・処理基準の遵守	適
	4・収集運搬基準の遵守	適
	5・帳簿記載の遵守	適
	6. 運搬受託者の記載事項と管理票交付者への送付期限の遵守	適
	7. 運搬受託者の管理票の保存期間の遵守	適
	8. 虚偽の管理票の交付等の禁止の遵守	適
廃棄物処理法 (産業廃棄物処理施設)	1・産廃処理施設の許可の義務	適
	2・施設の維持管理方法の基準の遵守	適
	3・技術管理者の義務	適
廃棄物処理法 (委託処理)	1・保管基準の遵守	適
	2・許可業者への委託	適
	3・管理票(マニフェスト票)の維持、管理、保管の返送期限管理の遵守	適
廃掃法(雑則)	1・投棄、焼却の禁止	適
	2・法律基準を満たさない一般廃棄物、産業廃棄物の焼却炉の使用禁止	適
	3・報告の徴収	適
騒音規制法	1・特定施設、設置の届出	適
	2・規制基準の遵守	適
振動規制法	1・特定施設、設置の届出	適
	2・規制基準の遵守	適
浄化槽法	1・法定検査	適
オフロード法	1・使用の制限	適
	2・適応除外	適
	3・特定特殊自動車を業として、使用する者が守るべき指針	適
フロン無排出抑制法	1・特定製品管理者の債務	適
	2・第一種特定製品の管理者の判断基準	適
	3・業務用エアコン、冷蔵冷凍機器のフロン引渡義務	適
	4・回収依頼書、委託確認書の授受	適
	5・引取証明書の授受	適
	6. 第一種フロン類回収業者のフロン回収料金請求	適
	7. フロン類放出禁止	適
自動車リサイクル法	1・自動車所有者の責務	適
	2・使用済自動車の引渡義務	適
	3・再資源化委託金等の預託義務	適
家電リサイクル法	1・事業者及び消費者の責務	適
	2・料金の請求	適
小型家電リサイクル法	1・定義	適
	2・事業者の責務	適

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。  
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

## 8. 代表者による全体の評価と見直し

### 1. 環境活動取組結果の評価

#### ① 二酸化炭素排出量の削減

施設の許可内容の追加により、機械(蛍光灯破碎機)が増え、電気使用量が増加し目標が未達となっている。

#### ② 燃料(ガソリン、軽油、重油)消費量の削減

エコドライブの徹底、ハイブリッドカーの導入により目標を平均34%上回る結果となった。

#### ③ その他の活動

廃棄物排出量の削減・水使用量の削減は、日々の取り組みが徹底されており目標が達成できている。

### 2. 見直し

#### ① 二酸化炭素排出量の削減

電気使用量においては、蛍光灯のLED化等で節電を図る。

#### ② 燃料(ガソリン、軽油、重油)消費量の削減

車輜・重機の購入時、燃費効率を考えて購入する。  
日々のメンテナンス強化を図る。

#### ③ その他の活動

グリーン購入・地域貢献活動など、目標が達成できている項目については、引き続き社内での取り組みを強化していく。

平成30年10月1日

代表取締役 橋本 健一郎